

令和5年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・共通のワークシートを使うことで、学年で統一した指導をすることができた。
- ・体育の授業や体育朝会を通して、短なわや長距離走を行い、課題であった持久力や敏捷性を高め、体力を向上させることができた。

(2) 課題

- ・共通のワークシートを使っているが、指導や評価を揃えることができていない。
- ・体力の二極化が激しく、運動が好きではない児童へのアプローチが必要である。
- ・昨年度同様、系統性のある指導ができていない。ワークシートを共通のものにするだけでなく、学年ごとの到達目標を領域ごとに設定して、学校全体で系統性のある指導を行う必要がある。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップで楽しみながら、主運動につながる運動を行い、基本的な動き方や用具の使い方の経験を幅広く身に付けることができるようにする。 ・巧みな動きを高めるために、授業の中で、短縄や長縄に取り組む時間を設定する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えるために話し合う時間を設定する。 ・学習カードを活用し、めあてをもって運動し、振り返りができるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、健康・安全に留意したりできるように、学年で体育のルールを徹底して指導する。 ・教師が肯定的な言葉がけをすることで、児童が前向きに運動に取り組める雰囲気をつくる。 |

(2) 中学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・持久力を高めるために、授業中に「縄跳びタイム」や「持久走タイム」などを帯で設ける。 ・児童が成功体験を得やすいように、ルール、場や用具等が緩和された運動を行い、運動技能の確実な定着を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えるための時間を設定する。 ・自己の運動の様子をタブレットで確認し、動きのポイントと照らし合わせて自己の課題を見付けられる | <ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養うために、教師が価値付けを行う。 ・健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う |

| | | |
|--|--------|---------------------------|
| | ようにする。 | ために、家庭と連携をして、児童の生活習慣を見直す。 |
|--|--------|---------------------------|

(3) 高学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・持久力を高めるために、授業中に「縄跳びタイム」や「持久走タイム」などを帯で設ける。 ・手本となる動画を見せたり、自分の試技を録画して見比べさせたりすることで、技能ポイントを正しく理解したり、見付けたりできるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自己のグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えるための時間を設定する。 ・自己の能力を客観的に捉えることで、自己の工夫、課題、課題に合った練習の場を見付けることができるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合っで運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養うために、教師が価値付けを行う。 ・毎時のめあてや単元のゴールイメージを明確にもつことで、自分の成長を実感できるようにする。 |